

環境モデル都市 円卓会議 会議録

部 会 名	食と農と暮らし円卓会議		記 入 者	丸塚（保健所）
開催回数	第2回			田畑（市役所）
開催日時	平成21年7月9日（木）19時00分～20時40分			
開催場所	市役所秋葉会館2F和室			
出 席 者	推進委員	浮島	漁業協働組合	諫山
	推進委員	沢畑	栄養士会	浦
	推進委員・ガイア	藤本	市生涯学習課	研川
	水俣保健所	丸塚	給食センター	田上
	市健康高齢課	岩下	市環境対策課	元村
	市農林水産振興室	田畑	市環境モ推進課	徳富
	食改善推進委員	谷口		
	出席者 計			12名
欠 席 者	推進委員	前川	環境マイスター	森下
	推進委員	下田	環境マイスター	松本
	Jaあしきた水俣基幹支所	宮本		
欠席者 計			6名	
内 容	1) 前回会議録の内容についてと7月4日の市民講座の結果報告。 （推進委員の浮島氏から、紹介して参加した4人の方と反省会をしたところ、みんなから参加してよかった、他のところへもいきたいとの感想が述べられたということ、次の数件の要望があったとの話があった。） 要望①地域内の名所にもっと看板をつけるなどして明示したらどうか。 要望②食事のお品書きを添えてほしい。メニューを持ち帰りたい。 要望③みなくるバスを石坂川方面にも出してほしい。			
	2) 進行役と進行役補佐の決定について 前回、先送りになっていた進行役と進行役補佐について、進行役は愛林館の館長で推進委員の沢畑氏に、進行役補佐に推進委員の前川氏が決定。			
	3) 今後の進め方について 進行役の沢畑氏から、アクションプランの5年間は長いので、前期・後期に分けて目標を達成できるよう取り組んではどうかとの考えが述べられ、メンバーの賛同を得た。			
	4) 今回の内容について（別紙意見参照） 30年後ぐらいの自分の理想とする水俣像を、予算も労力もたくさんあるという前提のもと、無責任な意見でかまわないので、各自数枚ずつ書き、各自が簡単な説明をして壁に掲示した。そして、これらの意見を各自、さらにまとめて1枚の紙に書き表した。進行役から、これを折に触れて見ながら今後の会議を進めていこうとの話があり、次回からは今回出した理想を踏まえ、アクションプランの具体的目標に近づいていくためにどうするか、予算もあまりないだろうから現実的に考えていき、2年半（前期）後にはここまで進みたいという話をする。できれば今年度中、遅くとも来年度始めぐらいには、取り掛かれそうなことを1つか2つ決めていきたい。 次回は各自、それを何にするか考えてくるようにしようとした。また、会議は2ヶ月に1回のペースでいくことを再度確認した。			
	次回開催日等			
	8月27日（木）19時 市役所秋葉会館2階和室			

別紙 第2回「食と農と暮らし」円卓会議での作業と意見

<理想とする水俣像>

予算も労力もたくさんあるという前提で、30年後にこうであればいいと思うことを各自、複数枚ずつ無責任な立場で紙に書いてもらった。

(出された意見)

- ・給食センターの屋根いっぱいを太陽光発電にする。
- ・恋路島にガラスの歩道を海底に通す。(海の花畑)
- ・中尾山にヘリポートを！「空の遊覧」。
- ・水俣湾の水銀ヘドロは分解させ、無害にし、市民農園にする。
- ・水俣湾海草の森プロジェクトで、造成のため天草の山の石を入れたが海草が育たない。藤壺だけが付いた。
- ・不知火海沿岸にさくらんぼとワイン用のブドウを植えたい。
- ・バイオエネルギーで空飛ぶ車が走る。
- ・川の石を入れたら海草が付き、ウニなどが育つ。
- ・菜の花がいっぱい咲いている畑がある。
- ・(恋路島に渡れるような)水陸両用車が走っている。
- ・休耕田に菜の花を植えてハワイに行こう。
- ・まち(水俣市)あげての海外食生活見学ツアーを年1回実行。
- ・定年後は農業に就く役を皆でやる。(徴兵制みたいに・・・)
- ・菜種油を商品化。
- ・水俣で採れた大豆で作られた豆腐が(給食センターに)納入してもらえる。
- ・水俣はブランドができないので、太刀魚・アジのブランドができればいいと思う。
- ・「水俣産」の入った水産物が出回っている。
- ・市内の自分のお気に入りの場所が5つ以上すぐ言える。案内できる。
- ・愛林館が巡礼の行列のできる食・農・森の聖地に。お布施もたっぷり。
- ・学校給食で、子どもたちが食べる食材は100%水俣産のもので。
- ・地産地消をすすめ、水俣のもので毎日ごはんをつくる。
- ・市内の産物が市内で流通。
- ・ハイテク設備の家と昔からあるような古い家が違和感なく並んでいる。
- ・食料自給率120%の水俣市。
- ・パンフの自宅に花や野菜を、というのはステキ。でも、初心者には無理。で、家庭教師のじいちゃん、ばあちゃんをつける。
- ・全世帯で自前の野菜づくり。
- ・お金がなくても暮らせる、自給自足(市内で)。
- ・1人1人が生活習慣をなくし、生活習慣病を減らしたい。
- ・不便さを受け入れられ、運動不足解消ができるようでありたい。
- ・体に良い食べ物(安心安全な)食材。
- ・わらしべ長者のようにいろんなものが物々交換できる社会。
- ・世代を超えた交流がもっと広がればいい。(寄ろ会の菜の花事業での笑顔に感動)

- ・農・林・漁業の仕事をするとうめしめが食えてしまう。
- ・天然の食材が貴重なものとなり、世界の一流シェフたちがまだ見ぬ食材を求めて水俣を訪れる。
- ・おいしい魚が食べられる。
- ・農業がホビーとして確立！農業オタクによる「COOL JAPAN」が世界に発信される。
- ・捨てるものがない。
- ・食材を使い切るエコクッキングを皆で身につける。
- ・豊かで子どもたちが安心して暮らせる水俣であってほしい。
- ・心の落ち着く場所。
- ・地球にやさしい行動は、私たちのお互いのやさしさにも繋がるはず。人にも住みやすいまちに！
- ・若い人達や子ども達が水俣に住みたい(帰ってきたい)と思うまちにしたい。
- ・緑豊かで地域で元気に遊べる。地域の公民館に自然に集まってくる。海や山で遊べる。
- ・市外から来た人に、「私たちの場所が一番」と皆が堂々と言える街に。(昔、なんでこんな何もないまちに来たの？とよく言われた。)
- ・子ども達に食の大切さを伝えていきたい。
- ・どこでも安心して水が飲める。
- ・子どもを安心して育てられる。
- ・元気な子どもが育つ街。(人口が倍に！)
- ・よその子をしっかりと地域で食育。

次に、各自が複数ずつ出した自分の意見をまとめた形で1枚の紙に書いてもらった。

(各自の意見のまとめ)

- みんなが生活を楽しめる暮らし。
- 水俣の自然を復元させ、エネルギーを含め、農林水産業で成り立つ町。食べていける町が夢。
- 安心でゆとりのある食と住まいと遊び(交流)。
- なぜか世界中から注目を集める水俣流のライフスタイル！
- 水俣の暮らしが皆のあこがれになる。例えばパリの人の暮らしぶりが雑誌で特集されるみたい
- に。
- 美しい水俣の私(暮らしやすい・ほどほどの金・美味しい)。
- ナンバーワンでなくオンリーワンの水俣。
- フェリー乗り場を湯之児に持てきたい。
- 魚は網でとらず、釣りだけにする。
- エコでつながる海も山も楽しめる街。
- やっぱり住んで良かった水俣。皆に誇れる水俣。
- 豊かな暮らしができる水俣。
- 世代を超えて笑顔があふれ、「地球」にも「人」にもやさしい街。
- 見て楽しい陸・海・空。食べておいしい み(水)な(菜種油)ま(豆)た(?)ふれあいの街。
- こどもが外にいる。海・山・川・畑で勝手に遊べる。
- わらしべ長者